

G空間情報センター

ニュースレター 第32号 2022年7月発行

【目次】

- [1. TOPICS「農業 DX における G 空間情報活用の最新動向」](#)
- [2. 上位アクセス状況\(集計期間：2022.5.1-6.30\)](#)
- [3. 最新のお知らせ](#)
- [4. 高精細 3次元点群データと映像を利用した富士山バーチャル観光サイト](#)
- [5. 注目のコンテンツ紹介](#)

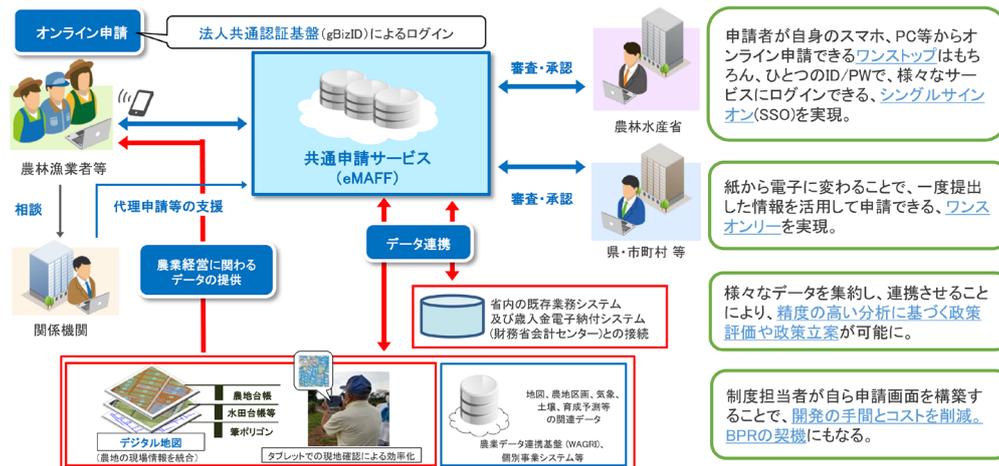
1. TOPICS「農業 DX における G 空間情報活用の最新動向」



国際航業株式会社 LBS センシング事業部
RS ソリューション部 営農グループ
鎌形 哲稔

近年、農林水産省では、農業生産現場の課題を解決し、持続的な農業の実現と SDGs の目標達成を目指しています。この具体的な施策としては、データ駆動型の農業経営により消費者ニーズに的確に対応した価値を創造・提供する農業（FaaS:Farming as a Service）への変革を実現するための「[農業 DX 構想](#)」や、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現することで、食料自給率の向上や環境負荷を軽減した農業生産を目指す「[みどりの食料システム戦略](#)」等があります。

農林水産省は「農業 DX 構想」の一環として、所管する法令に基づく申請や補助金・交付金のオンライン申請ができる[農林水産省共通申請サービス（eMAFF）](#)の構築や、各種農業情報の基盤となる農地筆ポリゴンの整備を推進しています。また、これらのデータ連携や提供機能を持つ農業データ連携基盤（[WAGRI](#)）と G 空間情報センターを連携する計画もあり、今後は、筆ポリゴンの閲覧や他の情報と組み合わせ合わせた横断的な可視化が可能となっていくものと予想されます。



農林水産省が進める DX 等の施策により、農業分野における空間情報技術の有用性の認知度向上と活用の普及が進むことでしょう。当社では、持続的な農業の実現の一助となるよう、計測・解析技術の向上と農業生産現場に寄り添った農業 DX に関する取り組みを進めていきたいと考えています。

<国際航業株式会社が提供するスマート農業サービスに関するお問合せ先>

LBS センシング事業部 RS ソリューション部 営農グループ

<https://agriculture.kkc.jp/>

2. 上位アクセス状況(集計期間：2022.5.1-6.30)

登録ユーザー数	11,867 名
期間アクセス数	472,272
登録組織数	592 件
データセット数	7,828 件
ファイル数	60,985 件

人気のデータセット

1	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区
2	3D 都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
3	全国の人流オープンデータ (1km メッシュ、市町村単位発地別)
4	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
5	静岡県中・西部 点群データ
6	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 2020 年度)
7	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 横浜市 (2020 年度)
8	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2020 年度)
9	静岡県 富士山および静岡東部 点群データ
10	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020 年度)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最新のデータ公開情報は[こちら](#)

最新のイベントをいち早くキャッチしたい場合は、ぜひ Peatix でフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatix)

4. 高精細 3次元点群データと映像を利用した富士山バーチャル観光サイト

朝日航洋株式会社

東日本空情支社 東京営業 1 部

法人グループ 岡本 紗季

静岡県の VIRTUAL SHIZUOKA 構想において整備された富士山周辺の 3次元点群データ「[VIRTUAL SHIZUOKA 静岡県 富士山および静岡東部 点群データ](#)」が G 空間情報センターから公開されました。朝日航洋株式会社（以下、当社）では、このデータをもとに「[VIRTUAL SHIZUOKA Viewer](#)」（以下、本サイト）を構築・公開いたしました。本サイトでは当社のヘリコプターにて撮影した空撮映像なども掲載しています。

本記事では、富士山を例に様々な角度から楽しみつくす、本サイトのコンテンツや見どころをご紹介します。

当社は撮影からデータ整備まで幅広い取り組みをしております。本サイトを多くの人にご利用いただくことで、3次元点群データの魅力や認知度が高まり、利活用がさらに進むことを願っております。

1. 3次元点群データの鳥瞰表示

G 空間情報センターから公開されている 3次元点群データのうち、「[LP データ オリジナル・グラウンドデータ](#)」、「[MMS データ オリジナル・グラウンドデータ](#)」及び「[バックパック型 LiDAR データ オリジナル・グラウンドデータ](#)」の 3点を Web ブラウザで表示できるようにしました。マウス操作で自由自在に視点を変更でき、スマートフォンでも操作可能です。LP データは富士山山頂付近の全形を計測した正確な測量データであり、様々な角度から富士山を眺め、とてもリアルな形状を見て楽しむことができます。登山道は更に高密度な計測データで、1合目から5合目は MMS（モバイルマッピングシステム：計測機器を搭載した自動車などのモビリティで 3次元データを取得する計測システム）、5合目から山頂までは、バックパック型 LiDAR（計測者がバックパック型のレーザ計測装置を背負うシステム）が用いられました。バックパック型 LiDAR で計測されたデータは、なんと足元の凸凹まで再現されています。



図 3 次元点群データ鳥瞰表示例

2. 登山をバーチャル体験できる全方位画像

本サイト画面上に黄色で表示されているラインをクリックすると、登山道の 360° 画像が表示され、まるで自分がそこにいるかのような、まさしく“バーチャル登山”を体験できます。本サイトで見られる全方位画像は、山頂から 5 合目までの区間を全方位カメラで撮影したものです。



図 登山道の全方位画像の表示例

3. 空撮4K動画

登山道から外れた山頂付近の吹き出しをクリックすると、ヘリコプターに搭載した [SHOTOVER](#) (映画や TV コマーシャル等でも使われる空撮用の大型スタビライザー) の 4K カメラにより、静岡県と当社が共同で撮影した、高画質の動画を見ることができます。動画は、冬期の富士山の山頂部をズームアップした映像も含まれています。



図 動画で見られる山頂部のズームアップ

4. 縦断図

富士山の静岡県側の登山道は、山頂を起点とする「静岡県道 152 号富士公園太郎坊線」という一般県道です。登山道上の吹き出しをクリックすると、縦断図の jpg ファイル名が入ったウィンドウが画面右上に表示され、そのウィンドウにある jpg ファイル名をクリックすると LP データから作成した県道の縦断図が表示されます。登山道の傾斜が正確に何度あるのか知りたいという、ちょっとマニアな方にお勧めのコンテンツです。

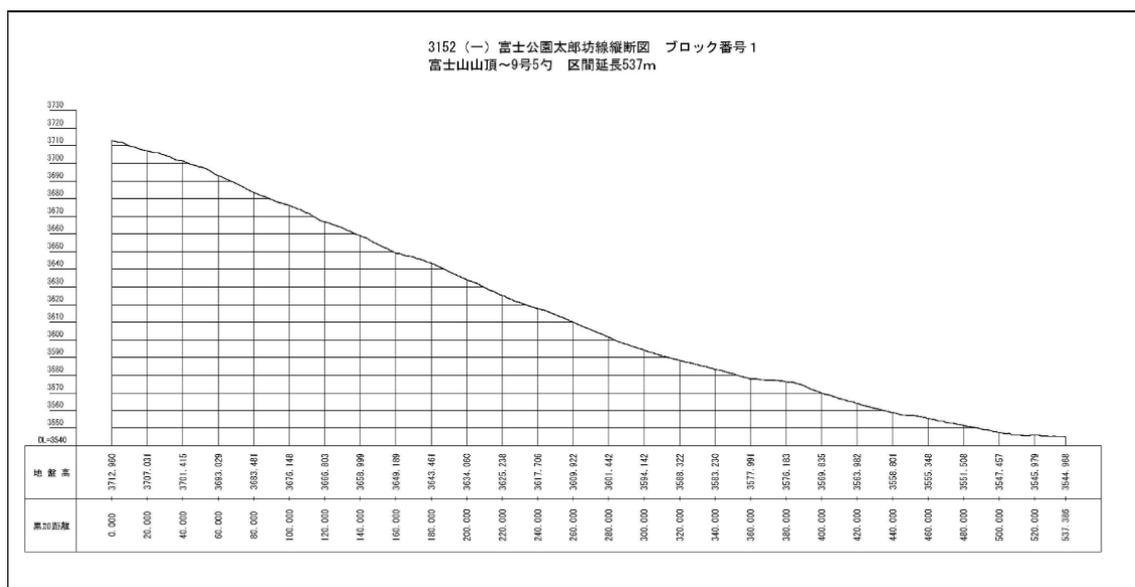


図 登山道の縦断図表示イメージ (©静岡県)

「VIRTUAL SHIZUOKA」 Viewer は、ハイクオリティな VIRTUAL SHIZUOKA のデータに対し、当社の高解像度撮影技術を組み合わせた充実のコンテンツです。私共の技術と情熱を、より身近に感じていただけるものと自負しております。是非世界遺産「富士山」を隅々までご堪能ください。

<本記事に関するお問い合わせ>

朝日航洋株式会社 モビリティ空間技術部、営業統括部

<https://www.aeroasahi.co.jp/contact/spatial/>

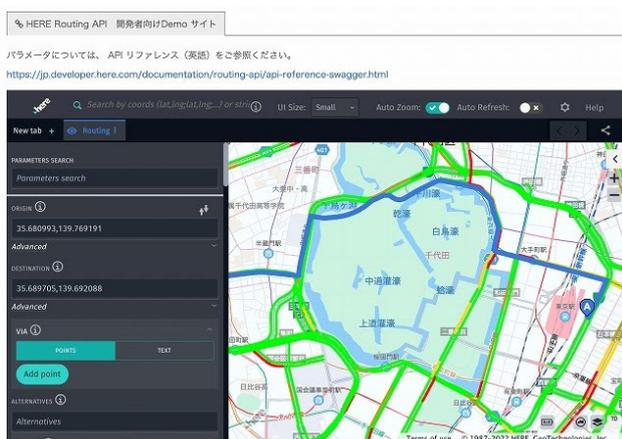
<報道機関からのお問い合わせ>

朝日航洋株式会社 企画室広報担当

<https://www.aeroasahi.co.jp/contact/>

5. 注目のコンテンツ紹介

HERE Routing API



欧州の地理情報大手、[HERE \(ヒア\)](#) がいよいよ G 空間情報センターに登場です。

日本ではあまり知られていないプロバイダですが、HERE の地図データは、世界中 1 億 6000 万台以上の車両で利用されています。

G 空間情報センターでは主に API のラインナップとなっています。

そのうちの一つ、HERE Routing API は、2 つ以上の地点間のルートを計算するため、到着時間に影響を与えるオプションを指定したり、特定のニーズに合わせた検索条件を加えて計算することも可能です。

対象データセットは[こちら](#)

過去のニュースレターアーカイブは[こちら](#)

G 空間情報センターの使い方動画を公開中！[You Tube](#)

ご意見・ご要望について

G 空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G 空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G 空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304 号室

メール : info@geospatial.jp

TEL : 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。